

かもめ 活動再開に向かって



①かもめの坂口会長が、関係者に事業説明 ②かもめ号がお弁当の受取・配達に出発(バイクなどの手段も活用) ③地域の飲食店でお弁当を受け取り ④手作りメニューのお弁当を地域に配達

見守りお弁当配達事業の内容

- ・かもめが地区住民からのお弁当の依頼を取りまとめ、飲食店に注文。住民とお店を仲介し、各家庭に注文したお弁当を配達する。
- ・お弁当配達時にちょっとした会話をしたり、様子を伺ったりして見守り活動を行う。
- ・竹田津地区の店舗(市のテイクアウト冊子に掲載)を利用し、地域のお店を支援。
- ・月2回実施(休止中の食事会と同じ回数)。
- ・お弁当代は400円とする。配達代は取らない。(食事会の利用料金400円に合わせる。実際のお弁当代との差額はかもめが補助)
- ・配達先は竹田津地区内の住民を対象とする。

お弁当配達と地域の見守りに、いざ出発!



ラーメン・カフェ 明星(国見町竹田津)
佐藤 功樹さん 節子さん

新型コロナウイルスの影響により3月4月は約4割売上が落ちていたので、地元から多くのお弁当を注文いただきありがたいです。高齢者のお口に合うよう、脂っこい食材は避け、柔らかく作りました。栄養バランスにも配慮しています。テイクアウトを増やしたいと思っても、配達までできないので、かもめさんが間に入って助かります。テイクアウトの売上が伸び、とても嬉しく思います。

かもめさんが間に入って助かります



見守りお弁当配達事業について話し合う関係者

利用者からの相談が活動再開のヒントに



かもめ利用者
岡田 敏子さん

かもめにテイクアウトについて相談

いつもかもめを利用しています。色んな人とお話ができて楽しいですよ。今はなるべく外出しないようにしていますが、一人でテレビを見ていてもさみしいです。かもめの人には本当に親切で、頼りになります。早くコロナが収束してほしい、かもめに行きたいって、いつも思っています。ある日、回覧板に入っていたテイクアウト冊子を見て、お弁当を頼みたいと思っただけですが、ちょっと戸惑ってしまっただけで、「一人で頼んでもよいのかな」とか「どうやって取りに行くのか」とか考えちゃってね。それで、いつもお世話になっている、かもめの小川さんに相談したんです。

かもめの出番だと思った

かもめが立ち上がったのが3年半前で、1年目からスタッフをしています。ウイルス感染防止のため、かもめもやむなく活動を休止しましたが、カフェや食事会などに来てくれていた高齢者のことが気がかりでした。

そんな折に、岡田さんから「テイクアウトをしてみたいけど、やり方がわからない」と相談され、これはかもめの出番だと思っただけです。「お弁当の配達で、高齢者の見守り活動ができるのではないかと」。かもめのメンバーにこの話を持ちかけたから、「早速やってみよう」ということになりました。「見守りお弁当配達事業」と名付けて、かもめの活動を再開することにしました。



かもめスタッフ
小川 明子さん